

# がん細胞生物学研究室

## Cancer Cell Biology

教授	櫻井 宏明	Hiroaki Sakurai
准教授	横山 悟	Satoru Yokoyama
助教	周 越	Yue Zhou

### ◆ 原 著

- 1) Haryuni RD, Watabe S, Yamaguchi A, Fukushi Y, Tanaka T, Kawasaki Y, Zhou Y, Yokoyama S, Sakurai H. Negative feedback regulation of ErbB4 tyrosine kinase activity by ERK-mediated non-canonical phosphorylation. *Biochem Biophys Res Commun.* 2019 Jun 25;514(2):456-61.
- 2) Kumrungsee T, Kariya T, Hashimoto K, Koyano T, Yazawa N, Hashimoto T, Sanada Y, Matsuyama M, Sotomaru Y, Sakurai H, van de Loo FA, Yanaka N. The serum amyloid A3 promoter-driven luciferase reporter mice is a valuable tool to image early renal fibrosis development and shows the therapeutic effect of glucosyl-hesperidin treatment. *Sci Rep.* 2019 Oct 1;9(1):14101

### ◆ 学会報告

- 1) 櫻井宏明. がん悪性化におけるセリン/スレオニンキナーゼによるチロシンキナーゼ型受容体の活性化. シンポジウム「次世代型がん治療法の創製に向けた基礎薬学研究のフロンティアライン」. 日本薬学会第 139 年会 ; 2019 Mar 20-23 ; 千葉. (招待講演)
- 2) 横山 玲, 高山亜紀, 周 越, 櫻井宏明, Meselhy RM Zayed, 松谷裕二. 植物性ステロイド guggulsterone の誘導体合成と NF- $\kappa$ B 阻害活性評価. 日本薬学会第 139 年会 ; 2019 Mar 20-23 ; 千葉
- 3) 山田あかね\*, 周 越, 高山亜紀, 松谷裕二, Meselhy RM Zayed, 櫻井宏明. Guggulsterone 誘導体による NF- $\kappa$ B 活性化抑制機構の解析. 日本生化学会北陸支部第 37 回大会 ; 2019 Jun 1 ; 福井.
- 4) 石田勝也\*, 福司弥生, 周 越, 横山 悟, 櫻井 宏明. GIST 細胞における RSK 阻害剤 BI-D1870 の KIT 発現抑制による細胞増殖抑制効果. 第 23 回日本がん分子標的治療学会学術集会 ; 2018 Jun 12-14 ; 大阪.
- 5) 横山 悟, 早川芳弘, 櫻井宏明. CDK2/9 阻害剤 Dinaciclib による BAK を介した抗悪性黒色腫効果と新規併用療法の提案. 第 23 回日本がん分子標的治療学会学術集会 ; 2018 Jun 12-14 ; 大阪.
- 6) 櫻井宏明. Phos-tag 解析から見えてきた新しい EGFR 活性化機構. 日本プロテオーム学会 2019 年大会・第 70 回日本電気泳動学会総会・合同大会シンポジウム「どげんかせんといかん、Phos-tag !」 ; 2019 Jul 24-26 ; 宮崎. (招待講演)
- 7) 横山悟, 岩上雄亮, 櫻井宏明, 早川芳弘. STAMPB は、SLUG タンパク質の安定性を調節し、悪性黒色腫の転移を制御する. 第 28 回日本がん転移学会学術集会 ; 2019 Jul 25-26 ; 鹿児島.
- 8) 横山 悟, 早川芳弘, 櫻井宏明. 白斑誘導物質ロドデノールによる抗悪性黒色腫効果の検討. フォーラム 2019 衛生薬学・環境トキシコロジー ; 2019 Oct 31-Sep 1 ; 京都.
- 9) 梅山 凜, 横山 悟, 早川芳弘. IMQ 誘発乾癬モデルに対する桑白皮抽出エキスの有用性. 第 36 回和漢医薬学会総会 ; 2019 Oct 31-Sep 1 ; 富山.
- 10) Abdellatef A, Shinguryo Y, Yokoyama S, Meselhy MR, Hayakawa Y. Anti-metastatic Activity of guggulipid extract by targeting cell intrinsic inflammatory pathways. 第 36 回和漢医薬学会総会 ; 2019 Oct 31-Sep 1 ; 富山.
- 11) 周 越, 山畑伊織, 山村朋弘, 横山 悟, 櫻井宏明. 非定型的活性化型 EphA2 による細胞遊走促進は小胞遊走関連タンパク Rab11 に依存する. 第 78 回日本癌学会学術総会 ; 2019 Sep 26-28 ; 京都.
- 12) 徐 小鷗, 横山 悟, 早川芳弘. Rational combination therapy for melanoma with CDK2/9 inhibition by targeting BAK-dependent cell death. 第 78 回日本癌学会学術総会 ; 2019 Sep 26-28 ; 京都.
- 13) 梅山 凜, 横山 悟, 早川芳弘. Anti-inflammatory effect of *Morus alba* L. bark by suppressing NF- $\kappa$ B signaling pathway. 第 78 回日本癌学会学術総会 ; 2019 Sep 26-28 ; 京都.
- 14) Abdellatef A, 横山 悟, 早川芳弘. Anti-tumor effect of guggul extract by targeting breast cancer cell intrinsic inflammatory pathways. 第 78 回日本癌学会学術総会 ; 2019 Sep 26-28 ; 京都.
- 15) 高山亜紀, 横山 玲, 志内玲彩, 周 越, 櫻井宏明, Suresh Awale, Meselhy RM Zayed, 松谷裕二. ステロイド系天然物 Guggulsterone の類縁体合成と抗癌性医薬シーズ探索に向けた薬理活性評価. 第 45 回反応と合成の進歩シンポジ

ウム；2019 Oct 28-29；岡山。

- 16) 石田勝也\*, 福司弥生, 周 越, 横山 悟, 櫻井宏明. 消化管間質腫瘍細胞における RSK 阻害剤 BI-D1870 の KIT 発現抑制による細胞増殖抑制効果. 日本薬学会北陸支部第 131 回例会；2019 Nov 17；金沢.
- 17) 佐藤弘樹\*\*, 高橋篤司, 横山 悟, 櫻井宏明. 悪性黒色腫における SOX10 を介した PD-L1 の発現制御機構. 日本薬学会北陸支部第 131 回例会；2019 Nov 17；金沢.
- 18) 地子愛佳里\*\*, 池ヶ谷真吾, 馬場絢子, 河崎優希, 周 越, 櫻井宏明. ErbB2/3 ヘテロダイマーにおける新たな非定型的リン酸化部位の同定. 日本薬学会北陸支部第 131 回例会；2019 Nov 17；金沢.
- 19) 周 越, 山畑伊織, 山村朋弘, 横山 悟, 櫻井宏明. RSK-EphA2 経路によって誘導される細胞遊走は Rab11 と Rab11-FIP1 に依存する；2019 Dec 3-6；福岡.

#### ◆ その他

- 1) 櫻井宏明. 放射線と薬. 富山大学市民公開講演会「未来を切り拓く放射線医療の最前線」；2019 Jan 25；富山. (招待講演)
- 2) 櫻井宏明. 細胞内からチロシンキナーゼ型受容体の活性化を制御する仕組み. 金沢大学がん進展制御研究所共同利用・共同研究拠点セミナー；2019 Jun 4；金沢. (招待講演)
- 3) Sakurai H. Natural compounds targeting signaling pathways in cancer cells. Seminar at Ubon Ratchathani Universtiy Current Research Trends Highlight on Natural Medicines as an Important Source of Novel Drugs“. 2019 Aug 1；Ubon Ratchathani. (招待講演)